

島根県立出雲農林高等学校の『3つの方針』(R5)

校訓 「耕魂 育命」 生命を育て、自らの魂を耕せ
教育目標 「自己表現と挑戦できる専門的職業人の育成」

1. 『生徒育成方針（グラデュエーション・ポリシー）』

- ① 社会に通じる人間力をもった生徒を育成する。
 - ・コミュニケーション力：社会的に通用する気持ちの良いあいさつができる生徒
生徒自治活動や部活動で活発に活動する生徒
学校生活や学習活動を生き生きと発表できる生徒
 - ・学力：基礎学力が定着した生徒
専門学科の基本的な知識と技能を持った生徒
 - ・自己管理能力：遅刻欠席がなく時間を遵守できる生徒
整理整頓や清掃が自らできる生徒
- ② 自ら学ぶ姿勢を持ち、志をもって社会貢献する生徒を育成する。
 - ・自主性：何事にも興味関心を持ち、主体的にチャレンジする生徒
 - ・専門性：専門学科の内容を深く探究する生徒

2. 『教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）』

- ① 生徒の人間関係づくりを支援する。
 - ア、人権意識を高め、いじめ・差別のない生徒にとって居心地のいい学校環境を作っていくと共に、多様性を認めあう心の教育の実践を図る。
 - イ、18歳成人の民法改正に伴い、自律・自立、自己管理・自己責任ができる、とれる生徒の育成を図る。
 - ウ、生徒会、農業クラブ、家庭クラブ、部活動などの活動から生徒の自治能力の育成を図る。また、行事、式典等の生徒による司会等、生徒を主体的に学校行事に参画させる。
- ② わかる授業、できる授業を目指し授業改善を推進する。
 - ア、効果的な学び直しの実践と社会人として必要となる基礎学力の確実な定着を図る。
 - イ、GIGAスクール構想に向け、ICT環境を整えると共に、一人一台端末（ICT機器）の有効活用を進める。
 - ウ、ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、よりわかる授業、できる授業を実践する。
- ③ 地域との協働による教育改革を推進する。
 - ア、地域と協働して解決していく『地域課題解決型学習』の実践を通して、地域にとってなくてはならない学校を目指す。
 - イ、学校運営協議会（魅力化コンソーシアム）を活用し、地域と一体となった魅力化を推進する。
 - ウ、生徒のアイデアから出雲地域にイノベーションを起こすことを目指す。
- ④ キャリア教育（キャリアプランニング）の充実から進路実現を図る。
 - ア、学科の専門性を生かし、地域の担い手育成に貢献する。（スペシャリストの育成）
 - イ、専門性を生かした大学等の進学への指導体制の充実を図る。あわせて、将来の農業教育を支える人材の育成を図る。
 - ウ、基礎学力の確実な定着と資格取得を継続的に指導し、学習成果の見える化を推進する。
- ⑤ 農業教育の更なる充実を目指す。
 - ア、農業クラブ活動をよりいっそう充実させ、全国大会での最優秀賞を目指す。
 - イ、GAP、HACCP（認証）教育を推進する。
 - ウ、スマート農業を推進する。
 - エ、総合的に「**日本一の農業高校**」と言える（評価される）学校を目指す。

3. 『生徒募集方針（アドミッション・ポリシー）』

- ① 植物分野（草花・バイオテクノロジー・作物・野菜・果樹など）、土木・造園分野（測量・土木施工・造園管理など）、食品分野（農産加工・栄養分析・食品衛生・微生物利用など）、動物分野（乳牛・和牛・畜産加工・愛玩・動物バイオテクノロジーなど）について本校の学習内容に興味関心を持ち、継続的に学習に取り組む生徒
- ② 実験・実習、プロジェクト学習での計画・実践・まとめ・発表などを通して体験学習や地域の課題解決学習に意欲的に取り組む生徒
- ③ 将来、本校で学んだことを生かしてさらに大学等で専門的に深く学んだり、地域社会で農業をはじめとした産業の発展に貢献しようとする生徒